

# 活動情報

取組項目

生物の生息状況の把握・学校教育との連携活動

組織名

湯津上東部環境保全会 (大田原市)

平成20年8月3日一般24名(うち子供13名の父兄8名・講師3名)と構成員13名の計37名の参加者で「生き物調査」を実施しました。

当地区は、頭なしを水源とした東堀用水路で土地改良事業も約35年を経過し用排水路共U字溝・V字溝が主ですがドジョウ、フナ、ウグイ、カワムツ、タモロコ、アブラハヤ、スナヤツメ又両生類ニホンアカガエル、トウキョウダルマガエル、ウシガエルのオタマジャクシ更に、甲殻類のアメリカザリガニ、貝類のマシジミ、マルタニシ、チリメンカワニナ水中昆虫では、アメンボ、トビケラ、トンボ類では、オニヤンマのヤゴ、アオサナエ、ハグロトンボ、陸上昆虫では、ショウリョウバッタ、ヤマキリ等多くの生き物を捕獲することができました。

捕獲後地元出身の西原小学校教諭佐藤工・前野両先生の説明を受け、生き物の名前を教わる。

その後、交流会では、子供達とバーベキュー大会を行い労をねぎらう。

参加した子供たちからは、「楽しかった、夏休みの宿題の絵日記に書くなど大変好評でした。

子供達にとっては、夏休みの良き思い出になったことでしょう。

要費用： 物材費・飲み物代・大田原市子育て支援券・交流費等 約11万円



佐藤工先生から説明を受ける

